



第57回書玄展・第7回公募書玄展

と き:令和3年5月7日(金)~9日(日)

と ころ:愛知芸術文化センター8階E室

第57回書玄展・第7回公募書玄展が開催されました。

今回は「宮沢賢治の世界」をテーマに大作品41点、額に入れた小作品142点、合わせて183点を展示しました。宮沢賢治はオノマトペの達人とも称され、その作品には独創的なオノマトペが鏤められています。まずその世界観から味わっていただこうと、「風の又三郎」冒頭部分の『どっどど どどうど どどうど どどうど どどう』を赤・青・緑、三色の文字で切り抜き、入り口床へ敷き広げました。先ずは来場者を色鮮やかなオノマトペでお迎えすることができました。

会場正面には加藤裕会長の「かなしみはちからに」がどっしりと力強く暖かい光を放ち、今まさにマイナスをプラスに変える考え方が必要なのではないかと問いかけているようでした。また、会員は賢治の文学を素材として、心に残る言葉や思いを各々趣向を凝らし表現しました。

本年は、開催できることを切に願いながら準備をしてきました。無事に終了することができ感慨深い展覧会となりました。

お忙しい中、ご来場いただきました多くの方々に厚くお礼申し上げます。

